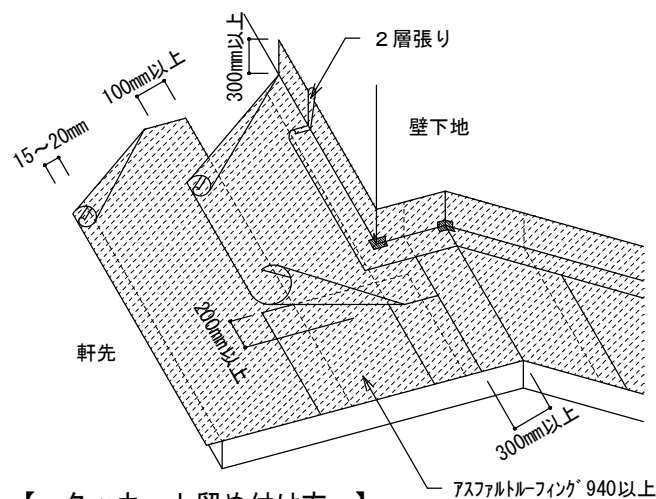
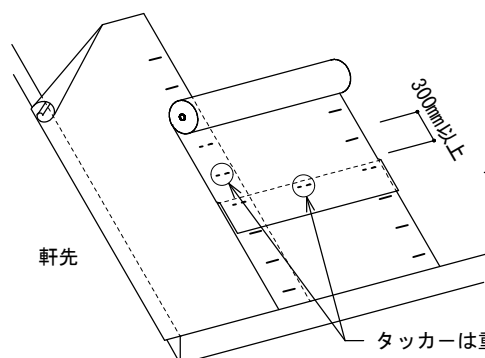


防水材

- * アスファルトルーフィング（940以上）を桁行方向に横張りしてください。
- * 軒先部は軒先先端より15～20mm程度ルーフィングを前に出し、袖際は破風板の上面まで張ってください。
- * 流れ方向100mm以上・桁行き200mm以上重ねてください。
- * 大棟部は、棟芯より両面300mm以上重ね、壁際は300mm以上立ち上げて2層張りしてください。
- * 谷部は捨てルーフィングに左右500mm以上重ね、隅棟はルーフィングの水下側で300mm以上重ねて下さい。
- * ピンホールが出来るおそれのある所、破れた所は、防水テープやコーキング等で補強してください。



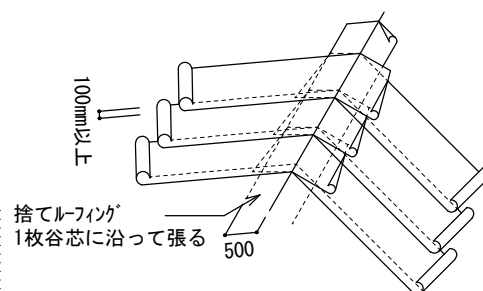
【 タッカー留め付け方 】



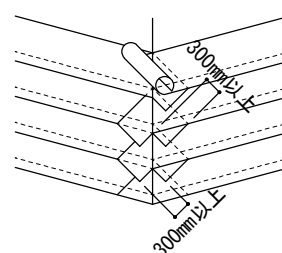
タッカーは重なり部分の下の方ルーフィングに留め付ける

- * タッカーの留め付けは重なり部分の下の方ルーフィングに300mmピッチ内外で縦方向（上下方向）でその他の部分は風でめくれない程度に留め付ける。

【 谷部重ね方 】



【 隅棟重ね方 】



桟木打ち（6.5寸勾配以上）

- * 桟木は寸法15×30mm以上のものを使用し、材質・形状的に良質のものを選んでください。
- * 桟木打ちは、葺き足ピッチに合わせ、垂木ごとに確実に釘打ちし、まっすぐ固定してください。

